

学生の論文本文入手行動における障害に関する調査へのご協力をお願い

この文書は、「学生の論文本文入手行動に関する調査」の内容について説明したものです。この調査に参加されなくても不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。もし、おわかりになりにくいことがありましたら、どうぞ遠慮なく担当者にお尋ねください。

1. この調査の概要

i) 調査課題「学生の論文本文入手行動における障害に関する調査」

ii) 調査責任者

伊勢幸恵	千葉大学	附属図書館
中山昌也	東京大学	法学部研究室図書室
澤木恵	東京海洋大学	学術情報課

iii) 調査指導者

大向一輝准教授	国立情報学研究所
高久雅生准教授	筑波大学図書館情報メディア系
佐藤翔助教	同志社大学社会学部

iv) 調査の目的

この調査は、国立情報学研究所開講の「平成 26 年度学術情報システム総合ワークショップ」における研修課題のひとつとして、学生の論文本文入手行動における障害について調査することを目的としています。

この調査は上記のワークショップにおいて、専門の教員の指導・助言を受けた上で実施しています。

v) 調査にかかる時間と身体等への負担

調査にかかる時間は 2 時間程度です。本調査の参加に伴う身体的・精神的な苦痛などのないよう十分配慮しております。

vi) 調査の方法

この調査では、調査協力者の方に論文の本文入手課題、アンケートのご記入、インタビューによる質疑応答など、行動観察実験に参加をして頂きます。実験中のシステム操作ログの記録、ビデオカメラによる行動の撮影、その他実験中の様子の写真撮影もさせていただきます。

2. 調査協力の任意性と撤回の自由

調査への参加は自由であり、調査の途中であってもいつでも調査を取りやめることができます。一旦ご同意いただいた後で、もし同意を撤回される場合は、調査責任者までメールでご連絡ください。なお、調査にご協力いただけないことで、皆様の不利益に繋がることは一切ありません。

同意を撤回された場合、あなたの調査データは破棄されます。しかし、解析結果として既に公開されたデータにつきましては、同意を撤回された場合においても破棄することができませんのでご理解下さい。

3. 個人情報の保護

この調査を通じてご提供頂く全ての情報は、調査データとして慎重に扱い、「平成26年度学術情報システム総合ワークショップ」関係者以外の第三者が触れることはありません。あなたのデータを分析する際には、氏名・住所・生年月日などの個人情報を取り除き、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で（連結可能匿名化）、厳重に保管します。

4. 調査結果の発表

調査結果の報告では、複数の実験参加者から収集したデータを統合した形や、背後から撮影した画像などとして個人を特定されない形にした上で、国立情報学研究所ホームページ、学会発表や学術雑誌及びデータベース上等で公表します。

5. その他

調査後に調査について問い合わせをしたい場合は、調査責任者までメールでご連絡ください。

* 連絡先

伊勢幸恵	千葉大学 附属図書館
中山昌也	東京大学 法学部研究室図書室
澤木恵	東京海洋大学 学術情報課

同意書

説明日時 平成 年 月 日
説明者 伊勢・中山・澤木 (担当者名を丸で囲む)

調査課題「学生の論文本文入手行動における障害に関する調査」

私は、上記調査への参加にあたり、説明文書の記載事項について説明を受け、これを十分理解しましたので本調査の参加者となることに同意いたします。

以下の項目について、説明を受け理解しました。

- 調査の目的
- 参加を求められる予想時間
- 調査への参加に伴う危険又は不快な状態
- 調査への参加は任意であり、参加しないことで不利益な対応を受けないこと
- いつでも同意を撤回でき、撤回しても何ら不利益を受けないこと
- 個人情報保護のための方策
- 問い合わせ、苦情等の連絡先
- 調査を実施する責任者（所属、氏名、連絡先）及び実施体制（調査指導者の氏名等を含む）

これらの事項について十分な説明を受け、了解しましたので、この調査の対象者になることに同意します。

年 月 日

本人署名